

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第7区分
 【発行日】平成19年12月20日(2007.12.20)

【公表番号】特表2007-518650(P2007-518650A)
 【公表日】平成19年7月12日(2007.7.12)
 【年通号数】公開・登録公報2007-026
 【出願番号】特願2006-550204(P2006-550204)
 【国際特許分類】

B 6 6 B 23/24 (2006.01)

【F I】

B 6 6 B 23/24 C

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月26日(2007.10.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

乗客輸送用の動く歩道、動くスロープ、またはエスカレータであって、該動く歩道、動くスロープ、またはエスカレータは、
コンベヤと、
固定基部に支持されるフレームと、
手摺とを含み、

前記フレームは、該コンベヤが設置され、該コンベヤを案内する案内路が設けられた2つの長尺状のフレーム部分を含み、

前記手摺は、手摺枠と、該手摺枠上に取り付けられて乗客が支えとして手で掴める上部掴み部分および該フレーム内部に配置された下部戻り部分を有する輪として設けられた循環手摺ベルトを含む動く歩道、動くスロープ、またはエスカレータにおいて、

前記フレーム部は連続材からなって端部同士が連続的に結合された複数の外郭金属体で構成され、該外郭金属体は押し出し成形された1つ以上の外郭体で構成され、前記動く歩道、動くスロープ、またはエスカレータは、互いに距離をおいて前記外郭金属体に結合されて前記循環手摺ベルトの戻り部分を支持する複数の懸架具を含むことを特徴とする動く歩道、動くスロープ、またはエスカレータ。

【請求項2】

請求項1に記載の動く歩道、可動スロープ、またはエスカレータにおいて、前記手摺ベルトは断面が実質的にC形状であり、その内側に内溝を画成し、前記手摺ベルトの戻り部分における該内溝は上向きに開き、該内溝の各端部には間隙を挟んで対向する出縁が設けられ、前記懸架具は前記手摺ベルトの間隙を通して前記内溝に伸びる桁腹部、および前記出縁の下側で該桁腹部の両端に広がる懸架具フランジとを含み、手摺ベルトを支持することを特徴とする動く歩道、可動スロープ、またはエスカレータ。

【請求項3】

請求項2に記載の動く歩道、動くスロープ、またはエスカレータにおいて、前記懸架具は導線を固定するための結合要素を1つ以上備えることを特徴とする動く歩道、動くスロープ、またはエスカレータ。

【請求項4】

請求項1ないし3のいずれかに記載の動く歩道、動くスロープ、またはエスカレータに

において、前記懸架具は摩擦係数が実質的に低い素材で形成されていることを特徴とする動く歩道、動くスロープ、またはエスカレータ。

【請求項 5】

請求項 7 ないし 9 のいずれかに記載の動く歩道、動くスロープ、またはエスカレータにおいて、前記懸架具フランジと接触する前記手摺ベルトの縁の接触面は、摩擦係数が実質的に低い素材でコーティングされることを特徴とする動く歩道、動くスロープ、またはエスカレータ。

【請求項 6】

請求項 1 ないし 5 のいずれかに記載の動く歩道、動くスロープ、またはエスカレータにおいて、前記フレームは、前記コンベヤを案内する案内路が設けられた 2 つの長尺状のフレーム部を含み、該フレーム部は端部同士が連続的に結合された互いに同一の外郭金属体で構成され、該外郭金属体は連続材からなって該 1 つの外郭金属体に一体化した結合要素、支持要素および／または案内要素を含み、前記フレームは前記フレーム部間で横に渡って該フレーム部を互いに離して平行に保持する複数の横渡し部材を含むことを特徴とする動く歩道、動くスロープ、またはエスカレータ。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の動く歩道、動くスロープ、またはエスカレータにおいて、前記外郭金属体は、アルミニウムまたはアルミ合金などの軽金属を押し出し成形した 1 つ以上の外郭材より構成されることを特徴とする動く歩道、動くスロープ、またはエスカレータ。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 7 のいずれかに記載の動く歩道、動くスロープ、またはエスカレータにおいて、前記コンベヤは、複数の連続するパレットおよびリンクチェーンまたはベルトなどの駆動要素を備えるパレットコンベヤであって、パレットを作動するために該パレットが駆動要素に接続され、該駆動要素は上段部および下段部を有する循環ループとして設けられることを特徴とする動く歩道、動くスロープ、またはエスカレータ。

【請求項 9】

請求項 6 ないし 8 のいずれかに記載の動く歩道、動くスロープ、またはエスカレータにおいて、連続材からなる 1 つの外郭金属体は、次のグループ、すなわち

- －前記フレーム部の外見的に可視の外面を構成する壁
- －固定基部に支持されるように合わせられた底部、
- －前記パレットを支持して案内する案内路を形成する第 1 の支え面、
- －前記手摺枠を支持する第 2 の支え面、
- －前記手摺枠を固定する締結要素の取り付け口、
- －前記懸架具を固定する第 1 の結合要素、
- －内壁を形成する外郭体などの第 2 の外郭体を横方向から結合する第 2 の結合要素、
- －前記支え面に磨耗板を固定する第 3 の結合要素、
- －前記手摺ベルトの戻り部分を内部に収容する第 1 の空間、
- －前記駆動要素の上段部を内部に収容する第 2 の空間、
- －前記駆動要素の下段部を内部に収容する第 3 の空間、
- －前記外郭金属体の端部同士を連続的に結合する拡張結合部品を内部に収容する第 4 の空間、および
- －前記外郭金属体の突き合わせの位置を決めるための位置決めピンを内部に収容する第 5 の空間、

のうちの 1 つ以上の要素を一体化して含むことを特徴とする動く歩道、動くスロープ、またはエスカレータ。

【請求項 10】

請求項 1 ないし 9 のいずれかに記載の動く歩道、動くスロープ、またはエスカレータにおいて、該動く歩道、動くスロープまたはエスカレータは、床やその他の支持体などの固定基部に設置するように設計された低構造の動く歩道、動くスロープ、またはエスカレータであることを特徴とする動く歩道、動くスロープ、またはエスカレータ。